

にじいろ通信

令和7年9月30日 第6号 札幌市立認定こども園にじいろ



にじいろホームページは

認定こども園 にじいろ

で検索してください。

日が落ちるのも早くなり、空の高さや頬にあたる風の冷たさに秋の訪れを感じるようになりました。今年の夏も暑く、この季節にしか経験することができない水や砂、泥に触れる遊びをたっぷりと経験し、その面白さに夢中になって遊んでいた子どもたちです。夏の遊びは、子どもの心身を開放させます。子どもたちの興味や発達に応じた環境を整え、水などの自然の素材に十分に触れられるようにすることで、子どもたちは冷たさや心地よさ、面白さ、不思議さなどを感じ、「やってみたい」「楽しいな」「できたよ」「もっとやってみたい」という「満足感」や「達成感」を味わえたと思います。今後も、一人一人の子どもたちが、自分の好きな遊びにじっくりと取り組み、遊び込む中で新たな発見や挑戦を重ねられるように関わっていきます。更に、友達と一緒に取り組んだり、助け合ったりすることを通して、自分以外の人への思いやりの心や優しい心の育ちも促していきたいと思います。

先日は、保護者の皆様にご協力いただき、楽しく園まつりを終えることができたり、きりん組らいおん組は、札幌市防災センターにバス遠足に出かけたりと様々な行事のある2学期です。玄関等でお知らせしている日々の保育の様子 の 掲示などを、ご家庭でのお子さんとの会話、ご家族の話題の一つとしてぜひご活用ください。温かい会話は、子どもも大人も心のエネルギーとなります。園とご家庭も温かい会話でつながりながら、連携を深めていきたいと思います。

～個人懇談～

らいおん組
10/14(火)・15(水)
きりん組
10/16(木)・17(金)
ぱんだ組
10/20(月)・21(火)
こあら組
10/23(木)・24(金)
うさぎ組
10/27(月)・28(火)
らっこ組
10/29(水)・30(木)

10月行事予定

2日(木)	徒歩遠足(ぱんだ組)	20日(月)	盛付隊(食育の日)
7日(火)	公開保育	21日(火)	にじいろであそぼう
8日(水)	食育「食べ物の働き」(らいおん組)	22日(水)	園医検診(乳児・3～5歳児・保育ママ)
9日(木)	観劇会	23日(木)	誕生会
15日(水)	手洗い教室	28日(火)	総合避難訓練
17日(金)	絵本貸出日(ぱんだ組)	31日(金)	入園受付日

公開保育について

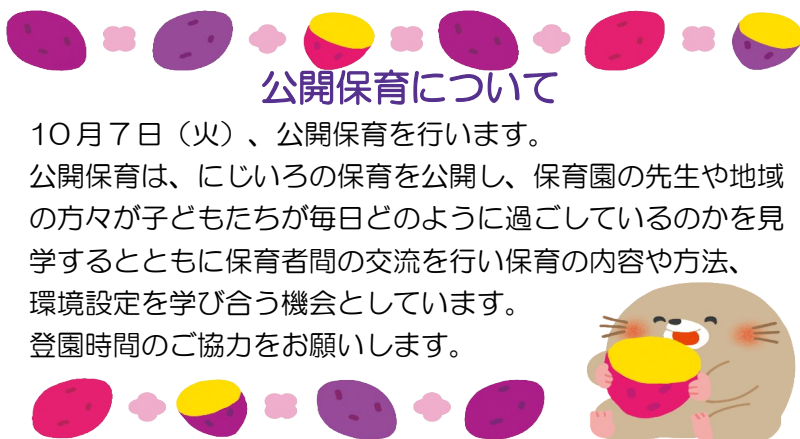
10月7日(火)、公開保育を行います。

公開保育は、にじいろの保育を公開し、保育園の先生や地域の方々が子どもたちが毎日どのように過ごしているのかを見学するとともに保育者間の交流を行い保育の内容や方法、環境設定を学び合う機会としています。

登園時間のご協力をお願いします。

公開保育の登園時間

9時までの登園を
よろしくお願いいたします。





こども園まつり



今年度も、「保護者と職員の会」のまつり企画班、制作班の保護者の皆様のご協力のもと、園まつりを開催しました。

ヨーヨーつり



すくいもの



くじびき



レンジャーわなげ、まとあて



他にも「こどもシアター」や「うちわと花火の制作」、園庭では「スライム」と「シャボン玉」を楽しみました。真剣な表情でゲームをしたり飲み物を飲みながら会話を楽しんだりする子どもたちの様子が見られました。

浴衣や甚平を着て参加してくれたお子さんもおり、保護者の方々と一緒に提灯が飾られたお祭りの雰囲気を楽しみながら、楽しそうな表情を浮かべていましたね。ご参加、ご協力ありがとうございました。



フレイデー

フレイデーへのご参加ありがとうございました。
アンケートにてたくさんの感想をいただきました。
保護者のみなさまからの感想やご意見をもとに、次回のフレイデーをよりよいものしていきたいと思ひます。



- ・自宅ではできないような遊びができて楽しかったです。
- ・子どもたちがのびのびと楽しそうに遊んでいる様子が見られてよかったです。
- ・普段あまりお話をする機会が少ない保護者の方との交流を図ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。
- ・ルールのある遊びを一緒に遊べるようになったことや、勝ち負けを受け入れる気持ちが育っていることに成長を感じました。
- ・ハルーンをやっているのを見て、もうこんなことまでできるのかと成長を感じました。いつも園でやっていることを体験できてよかったです。
- ・母と一緒にだとなかなか離れられず活動の様子は少ししか見られなかったのが、こっそり見たいと思いました。

園内研修 ～救命講習



先日、札幌東徳洲会病院の救急救命士を講師に招き、心肺蘇生法やAEDの使い方などについて研修を行いました。毎年、にじいろの田所看護師を講師に救急救命について園内研修を行っていますが、今回は救命の現場に携わっている専門家から様々な話を聞くことができ、緊急対応や救命処置などについて知識を深めることができました。

昨年札幌市で起きた誤嚥死亡事故を踏まえ、窒息時の対応について、対応の順番を再確認するとともに、人形を使った「背部叩打法」と「腹部または胸部突き上げ法」、「心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）」の体験をしたことで正しい体勢や必要な力加減などを知ることができ、職員の動きや連携の仕方などについてイメージをもつことができました。

万が一の事態に備えて救命処置の知識を深め、適切な対応ができるようにしておくとともに、事故が起こることのないよう事前の事故予防に努め、毎日の丁寧な対応や関わりを今後も継続していきたいと思ひます。



9月のご意見、ご要望はありませんでした。何かございましたら、いつでもお声掛けください。